

信州なががわ木の駅通信

創刊号
2021年7月1日
信州なががわ
木の駅実行委員会



新しい運営体制で実行委員会がスタート

木の駅実行委員会は正式発足以来3年が経過し、運営体制が3点ほど変わります。

その中でも最たるものは「チーム制」の導入です。これは自分の興味のある分野、得意とする分野にそれぞれが積極的に関わっていくための試みです。これによって活動内容をより明確化し、木の駅の持続可能な仕組みを作り上げていきます。

とりあえず左記の3チームでスタートしますが、今後のニーズに応じて続々と増えていくかもしれません。チーム名もあくまでも仮称です。部活のノリみたいな感じで、どこのチームに入るのか自由に選んでください。掛け持ちで複数のチームに所属することもOKです。定例の実行委員会の中ではチームごとに分かれてディスカッションの時間を設定します。

「チーム制」が始まりました

● 運営チーム

実行委員会全般の運営に携わり、会計業務を担います。また地域通貨を発券し、出荷者へ配布し、加盟店との間で換金業務をします。広報活動としてHPの更新、チラシや通信の発行、イベントの企画や告知もします。さらには出荷材と志~材の在庫管理もしていきます。

● きこりチーム（山づくりチーム）

必要な時に必要な量の出荷材を確保するために取り組み、そのための課題解決に当たります。出荷作業を促進したり、共同搬出会を企画したりします。また、土場（集積場）の適切な整備と運用にも携わり、山仕事手習い塾を企画します。

● 原木活用チーム

木の駅に集積された出荷材や志~材を無駄なく有効に活用する方策を検討します。望岳荘の薪ボイラー以外にも出荷材が使えないか、また志~材をチップ以外にも活用できないか用途開発をします。原木販売会等のイベントも企画します。

年会費納入のお願い

これまで事務局等のスタッフは無償ボランティアとして運営してきましたが、今後は相応の手当を確保してまいります。また、ウッドストックの環境整備や備品の購入などのためには資金が必要です。村からの援助もいただきながら、自主財源もある程度確保していきたいところです。

そこで実行委員の皆さんには、今年度から年会費として2000円の納入をお願いいたします。集めさせていただく年会費は適切に運用し、年度末には会計報告をいたします。

また、この年会費には賛助会費的な意味合いを含んでいます。都合がつかなくて実行委員会に出席できない方や、木の駅の活動に参加できない方も、実行委員会を金銭的に応援したいというお気持ちで納入していただければ大変ありがたいです。

毎月開催している実行委員会において集金いたしますが、口座振込でもかまいません。振込先は下記のとおりです。

なお、8月末までに納入が確認できなかった方につきましては、実行委員を続けていく意志がないものとして見なして、名簿から削除させていただきます。会議の開催通知やお知らせなども停止いたしますのでご承知ください。

上伊那農協 中川支所 普通貯金口座
口座番号：0025518
口座名義：信州なががわ木の駅実行委員会

LINEを導入します

実行委員会の開催通知やお知らせをすべて郵送でお届けしてきましたが、今後はこれをLINE(ライン)に切り換えていきます。その目的は経費の削減と情報の伝達共有の迅速化です。すでに「信州なががわ木の駅実行委員会」としてグループが作成済みで、現在十一名が参加しています。新たにグループに入るにはスタッフに声をかけていただければ手続きします。こちらから声をかけて招待もします。LINEへの切り換えは9月頃を予定していますのでお早めにお問い合わせください。

なお、スマホを持っていない等の理由でLINEに参加できない方については、メールにて個別対応させていただきます。

お知らせ

昨年からのコロナ禍で、望岳荘の入浴客が減少し薪ボイラーの稼働率低下し薪の需要減し原木の需要減という状態に陥っています。せっかく出荷しても原木がはけていかない状態が続いていましたが、薪の在庫も徐々に減り、近々薪割作業も再開されそうな見通しです。

こんな状況ですが出荷材の受け入れを停止しているわけはありません。出荷される際には当面の間、ウッドストックではなく、かつらの丘へお願いいたします。

